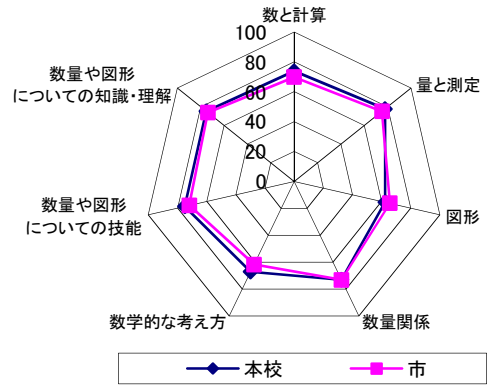


宇都宮市立豊郷中央小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	73.7	69.8
	量と測定	77.8	75.2
	図形	62.5	65.7
	数量関係	73.0	73.1
観点別	数学的な考え方	67.1	61.7
	数量や図形についての技能	75.0	72.0
	数量や図形についての知識・理解	75.2	73.8



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○全体的に正答率が高かった。特に「4けた+4けた=4けたのけいさんができる」やわり算(あまりなし)などは、高い正答率がでている。しかし、「数の相対的に認識する」内容においては、市の平均よりも低い結果となっている。	○大きな数は、位取り板や数直線などを使い、数の構成と位取りの原理を理解できるように、繰り返し指導する。
量と測定	○全体的に正答率が高い結果がでている。しかし、はかりの重さを読み取ることや重さの単位を適切に使うことが市の平均より劣っていた。	○重量に対する身近な感覚を持たせ、「重い」「軽い」からメモリを読んで実数をとらえるようにしていく。単位の使い方は、「重量」「長さ」「時間」等の意識化を図るように支援する。
図形	○図形に対して児童の意識が低く、面の構成についての理解が低いとなっている。学習内容としては、2年生の内容なので、忘れてしまっていたようである。	○立体の具体物を提示して、面や辺、点や角の認識を高めていく必要がある。
数量関係	○□を使った式の使い方は、文章から読み取ることがまだ身につけていないため、式を作ることができていなかった。しかし、図式化されたものからは、□を使った式が作れている。棒グラフの読みとりは、メモリの読み違いがあり、誤りが多く出てしまった。	○文章題を自分で作る方法で、□の意味を考えさせる機会を持つようにする。棒グラフは、落ち着いてメモリのつけ方を第一にとらえさせ、読み取りの練習をさせる。